

交通事故から子どもと高齢者を守る！

～安芸地区交通安全協会熊野支部～

年末交通事故防止県民総ぐるみ運動期間中（12月1日～10日）の早朝、安芸地区交通安全協会熊野支部（河原超支部長）の皆さんが各小学校の通学路で、児童の安全な登校に向けた早朝交通指導をされました。協会の皆さんに活動や課題についてお話を伺いました。



▲安芸地区交通安全協会熊野支部

Q 安全協会熊野支部の紹介をお願いします。

A 私たちは、交通事故のない安全・安心のまちづくりを目指し、海田警察署と連携しながら交通安全啓発のボランティア活動を行っています。

メンバーは、現在9人

で頑張っています。
Q 活動のモットーを教えてください。

A 交通事故から子どもと高齢者を守ることを第一に活動しています。



▲通学路での早朝交通指導の様子

Q 活動内容を詳しく教えてください。

A 春夏秋冬の交通安全運動期間中に各小学校の通学路で早朝交通指導を実施しています。また、この時期には自治会、女性会、老人クラブ等にも参加いただいで町内3か所での街頭キャンペーンも行っています。

7月には、町内のショッピングセンターで保育園

児の皆さんと一緒に交通事故防止啓発活動の七夕キャンペーンを実施しています。

小中学生の皆さんには、自動車学校などで正しい自転車の乗り方などを習得するための交通安全教室を行っています。その他、筆まつりや熊野駅伝大会等のイベント時にも交通誘導整理を行っています。



▲小学生対象の交通安全教室

Q どんな時にやりがいを感じますか。

A 登下校する子どもや地域の方からいただく「おはようございます」「ご苦勞様です」の声が何よりもやりがいと元気の源

です。隊員としてのプライドや自分の交通マナーも向上したように感じます。

Q 活動にあたって課題などがあれば教えてください。

A 新型コロナウイルスの影響で啓発活動等も縮小を余儀なくされています。また、隊員の高齢化が進んでいます。若い人にも参加してほしいですね。女性も大歓迎です。

Q 今後の活動等を教えてください。

A 高齢者の死亡事故が増えていきます。高齢者向けの交通安全教室を実施したいですね。

Q 町への要望があれば、教えてください。

A 小中学生が安心して登下校できるよう、歩道を拡げるなど環境整備をお願いいたします。

取材／中島数宜
光本一也